

青山学院と教育提携調印式を おこないました！！

3月28日（月）午前10時より、青山学院チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂で学校法人青山学院と学校法人遺愛学院との間で、教育提携調印式を行いました。

調印式は礼拝として行われ、青山学院宗教部長の伊藤 悟先生の司式で厳かに進められました。黙祷、聖書拝読、祈禱、調印、挨拶（青山学院：山本与志春院長、遺愛学院：福島基輝）、祝禱という流れでした。その後、記念の写真撮影をしました。青山学院からの出席者は堀田宣彌理事長、阪本 浩学長はじめ16名、遺愛学院からは、増田事務局長と私、そして同窓会東京支部から5名が駆けつけてくれました。

この連携により、授業連携、学生・生徒の交流、教職員の交流および研修、指定校推薦の拡充などが本格的に進められます。現在でも遺愛高校出身の学生が10名以上青山学院大学に在籍していますが、これからはさらに増えることとなります。

青山学院と遺愛学院の創設は共に1874年（明治7年）です。当時、北米メソジスト監督教会から6名の宣教師が派遣され、東京2名、横浜1名、長崎1名、函館2名が福音伝道のために赴任しました。宣教師たちはそれぞれの地で学校を設立しました。函館の2人が、MCハリス宣教師と妻のFBハリス宣教師で、遺愛学院の礎をつくりました。ルーツは同じということで、戦前は青山学院とは教師間の人事交流も行われ深い関係がありましたが、戦中からアメリカからの支援が途絶える中で、それぞれ独自の道を歩むようになりました。しかし、遺愛理事長については、青山学院関係者が就くことが多かったようです。13年前に教育提携の機運が盛り上がった時期がありましたが、諸般の事情で頓挫し、この度、青山学院大学の山本院長のご尽力のおかげで調印式を行うことができました。



左から阪本学長、堀田理事長、山本院長

福島、増田宣泰事務局長



上段、左からリーデイ教授、同窓生の皆様

2022年3月31日（木）